

令和6年度 始業式 式辞

おはようございます。新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。暖かい春の日差しとともに、新たな1年の始まりです。新しいクラス、新しい先生、新しい友達、今日のこの日の出会いを大切にしましょう。私は本校にこの4月1日に校長として着任しました山田 正浩と申します。宜しく願いいたします。

さて、本日はマーティン・ルーサー・キング・ジュニア氏のお話をしたいと思います。

彼はアメリカ合衆国のプロテスタントバプテスト派の牧師でした。市民やメディアからキング牧師と呼ばれ、ガンジーの非暴力的抵抗の教えに共感し、アフリカ系アメリカ人公民権運動の穏健派の指導者として非暴力差別抵抗活動を行った有名な方です。また彼は「I Have a Dream (私には夢がある)」の一節で知られる、有名な演説を行った人物として多くの人に知られています。アメリカ国内における第二次世界大戦後も続いた人種差別（特にアフリカ系アメリカ人に対する差別）とその克服への闘いの歴史を語る上で、忘れてはならない人物です。

そんな彼が次の言葉を残しています。

「もし飛べないなら走ればいい。走れないのなら歩けばいい。歩けないのであれば、這っていけばいい。何があっても前に進み続けなければならないのです」

これは「何度失敗しても、あきらめず這いつくばってでも立ち上がってみなさい。そうすることで、何か光が見える。」という意味です。これから始まる令和6年度も、コロナ化のように困難な状況下の学校生活に戻るかもしれません。物事を成し遂げるためには今までの何倍もの努力が必要となり、努力しても思ったような成果が上げられないこのとほうが多いかもしれません。そんな時にキング牧師のこの力強い言葉を思い出してみましよう。

皆さんの顔つきを見ると、幾多もの壁を乗り越えて、強くなったのでしょうか、とてもたくましく、頼もしく感じます。知らず知らずのうちに、そして今日この日を迎え、今ここ大谷中の場で新たな決意を胸にしていることと思います。

本年度も「明るく、夢を持ち、たくましく」学び、益々成長してください。英知を振り絞り、互いに励まし合い、力を合わせ、どんな状況も「這いつくばってでも」乗り越えいく、そんな1年にしてください。

今皆さんの目の前にいる学年の先生をはじめ、多くの先生方がたくさんの思いを込めて始業式の準備を丹念に行いました。そんな先生達を昨年度以上に信頼していただき、未来を信じて、今できることをこの大谷中で共に一生懸命頑張りましょう。

私校長も「明るく、夢を持ち、たくましく生きる 大谷中生」とともに、これからも気持ち新たに一所懸命頑張る所存です。一人一人がそれぞれの目標の達成に向け、新しい仲間とともに今日から再び歩み始めましょう。

以上、令和6年度スタートの校長挨拶とさせていただきます。

令和6年4月 8日 上尾市立大谷中学校長 山田 正浩